

# 公益財団法人軽井沢美術文化学院

平成 30 年度事業計画書

## 1. 美術館の運営

### 「西村伊作とその子供たち」

軽井沢での暮らし

### 伊作の初期絵画

2018年6月10日(日)～11月4日(日)

10:00～17:00 水曜休館・但し7/15～9/15 開館

#### (1)企画展

西村伊作は大正デモクラシー期を代表する文化人の一人です。彼は大石誠之助と日本人の生活近代化に取り組み、生活の改善や教育・住宅の改革を説き、当時の人々から熱い支持を集めました。伊作の叔父の大石誠之助は明治末期の大逆事件で処刑された医師で、本年、故郷の新宮市の名誉市民となり注目されました。

伊作には9人の子供がいます。長女アヤが中学にあがるのを期に、彼女の通うのにふさわしい学校が必要と考え、1920年夏に、与謝野寛・妻らと軽井沢、沓掛で相談し、翌年東京駿河台に文化学院を創立し、自由に伸び伸びとした教育を実践しました。

留学が珍しい戦前は、今とは困難の度合いが全く違う状況でしたが、子供たちは、伊作の勧めもあり、独自の考えで海外に向かったのです。

一方で、軽井沢は西村家にとって特別な意味を持っています。

伊作が文化学院の設立を決めたのは軽井沢であり、1920年代には、軽井沢に住み始め、1930年に土地を購入し、家族の為にコテージをいくつも建てました。以降西村家にとって軽井沢の家は、現在も海外に散らばる家族をも含め、一族の集いの場所となっています。

そんな家族の歴史、子供たちの生き方を当時の貴重な写真、絵画などで紹介します。

同時に、新宮での初期の伊作の絵画を展示致します。

## (2)美術館でのイベント

- \*春のアートフェスティバル 4月29日(日)～5月6日(日)
- \*ローズフェスティバル 6月16日(土)～7月1日(日)
- \*八知の会 7月7日(土)
- \*フラワーアレンジメント(講師:捧泉美) 7月29日(日)
- \*木工教室(講師:永島秀之) 8月11日(土)～8月15日(水)
- \*秋のアートフェスティバル 10月7日(日)
- \*トークショー「軽井沢の思い出」 クワ・西村・バル 8月4日(土)14時

## (3) ルヴァン美術館夏のコンサート

- ① 8月 5日(日) 近藤和花ピアノコンサート(第11回)
- ② 8月11日(日) ボサノバ・サパルス/木村 純・三四郎(第15回)
- ③ 8月25日(土) 寺田悦子・渡辺規久雄/四手連弾ピアノコンサート
- ④ 9月 1日(土) ヴァイオリン、チェロ、ピアノのトリオ室内楽  
ポーマン・ベアンテ(チェロ)、矢崎さくら(ピアノ)  
イスラエリヤン・カレン(ヴァイオリン)
- ⑤ 9月 8日(土) 一噌幸弘 和の笛・洋の笛 音楽の旅  
一噌幸弘(能管・篠笛他)/高木潤一(ギター)/  
勝海 登(シテ方)/吉見征樹(タブラ)

\* 入場料: 大人:3,000円、子供:1,500円(中学生以下)、幼児:無料

②は先着30人(1,800円)でピュッフエあり、要予約

③はピュッフエ込みで大人6,000円、子供3,000円

\* 時間: ① ④ は 開場:17時、開演:17時半

② ③ は 開場:18時、開演:18時半

⑤ は 開場:16時半、開演:17時

③④⑤は軽井沢ペット福祉協会のチャリティーコンサートとして、  
収益の一部を協会に寄附致します。

## (4)多目的ホール( Atelier Le Vent) の運営

6月から開館する美術館付属のホール(アトリエ・ルヴァン)においては、絵画、陶芸のワークショップ、貸し展示会場、各分野の著名講師によるセミナーを企画中であり地域に対しての文化発信の一つの拠点となるよう運営していく。

## 2. 学生寮の運営

本年3月末をもって、文化学院はクローズされることとなり、夏季の利用は卒業生、旧教職員が西村伊作の精神、思想、作品に触れるための宿泊設備になり、利用者は従来のセミナー中心の利用に比べ減少することが見込まれる。

しかしながら本年度から開館する美術館付属のホールではアート、クラフトの実習と講師による各種の講演を企画しており、そのための講師の宿泊、夏のコンサート出演者のための宿泊設備必要として、活用したい。

このため、従来の4名一部屋のバンクベッドタイプから、2名一部屋のツインタイプに改装を行った。

## 3. ショップ・カフェの運営

### 1) ショップ

本年度は従来の商品を中心とするが、テーマである伊作の子供たちの著作及び文化学院がクローズされることもあり、文化学院のメモリアルグッズ的なものを販売する。

### 2) カフェ

美術館庭園の雰囲気、癒しの空間として来館者にアピールし、また、値段、味ともに評価された結果、毎年着実に来場者が増加してきました。29 度の見込みは 3,00,000 円程度が見込まれ、30 年度もほぼ同額の売り上げを見込んでいます。70 台程度の車を駐車できる駐車場とカフェのバリアフリー化も完成しており、スタッフの教育を強化してサービス面の向上を図ってまいります。

## 4. その他

### 他の団体への寄付

新宮市の西村記念館については、国定重要文化財の指定を受け、目下修復作業中であるが本年度も引き続き維持、保全のための寄付を継続する。また2年前に同市が保全のために購入した西村伊作が建築したチャップマン邸についても、維持、保全のため各々10万円の寄付を継続する。